

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ジョイジョイ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		
	2	職員の配置数は適切である	6	1		基本人員数は3人である。4人から5人を配置しているが手厚い支援を必要とする利用者もいるので、曜日によっては手が足りないと感じる時もある。ボランティアも要請している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	3	段差や階段がある。構造上難しいところもあるが、配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			ミーティング等で確認したり、個別ファイルを何回も見直すことで参画していた。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			会報が出せなかった。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	法人に逐次報告しながら、意見を仰いでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			今年度はコロナのため回数は少なかった。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		学習面に関しては、一部アセスメントツールを利用するなどしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			管理責任者が作成し、担当者が見直しを必ずしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			今年度はコロナ影響で長期休みのお出かけプログラムが出来なかった。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		なるべくしているが、高学年になると個別のみで終了する子もいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			その日に利用する子どもたちが安全に過ごし、良い療育の場になるように祈りをもって始めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	1	日誌等で共有したり、対面での話し合いをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			個別と集団の組み合わせを試みている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			責任者か担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		細かなことは保護者からの要請があればしている。送迎時に情報を共有している。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	まだ該当者がいない。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			対応が分からない場合は、担当の相談員や児童発達支援センターに相談している。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	3	
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	2	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	今年度はコロナのためできなかった。
29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
保護者への説明責任等	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	2	コロナのためできなかった。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			対面や電話、メール等で保護者の思いを聞くようにしている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	2	今年度は会報での発信はできなかったが、個別での状況に共有はできた。
	34	個人情報に十分注意している	7			退職した職員に対しても徹底している。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			連絡帳、電話、メール等で連絡を取り合っている。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	4	そのような企画ができていない。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			訓練をしたことの報告は実績表でお知らせしているが内容までお伝えできていないところが課題である。

非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			長期休みに必ずしている。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的に1カ月1回のミーティングで行っている
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	5	1		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ミーティング時にも確認している。